



真保さんの田んぼ 緑が濃いです



溝切作業をする真保さん

二十四節気 **夏至** げし - 一年で一番昼の時間(日の出から日没)が長い頃
暦の上では夏季の真ん中に当たります

毎日30℃前後の暑い日が続いています。
晴れの日が多く、雨が降りません。
梅雨入りが遅れているようです。
山手に田んぼがある農家さんは、また水不足を心配しています。 適度に雨が降ってほしいものです。



溝切り機

◎◎ 溝切り・中干し ◎◎

先週から、田んぼではたくさんの農家さんが溝切りをしている姿を見かけるようになりました。
先日、南区の生産者の真保さんのところへ伺うと、自宅裏の田んぼで溝切りの作業をしていました。

溝切りは、シャベルのような部品のついた小型のバイクのような機械に乗り、田んぼに溝を掘っていきます。田んぼに掘った溝は、田んぼの入水・排水の際に、スムーズに水が通るように、水路の役割をしてくれます。排水がスムーズになることで、秋に雨が長く降った場合でも、コンバインがぬかるまないのであります。



溝切りの跡

中干しは、田んぼの水を一旦落とし、小さなヒビ割れが入る程度まで乾かし、稲の茎数(けいすう)が過剰に増えるのを抑える目的で行います。

その他にも、空気を土中に送り、ガスの発生を抑えて根を健全な状態に保つ目的もあります。



中干している田んぼ

あと10日ほどで7月に入ります。

早いもので稲刈りが始まるまで、約2ヶ月です。



南区は果樹栽培が盛んな地域で、果樹畑が多くあります。

今の時期、果樹畑の近くを通ると、果物の実に袋掛けがされています。

袋掛けされた桃の実

前回、ご紹介した新潟市南区の伝統行事「白根大凧合戦」は無事終了したようです。

都合がつかず、観に行けなかったのですが、休日に家族で「しろね大凧と歴史の館」に行ってきました。

国内の凧はもちろん、世界各国の凧も展示されている世界最大級の凧資料館です。

私も小学生の時に課外学習で行ったことがあるのですが、20年ぶりくらいに伺いました。

長男は、大人が手伝いながら凧作りも体験し、出来上がると早速資料館の外で凧あげをしていました。

自宅からは海が近いので、仕事終わりに時間があると家族で海に行き、長男は空高く凧をあげて楽しんでます。



展示された大凧



日本各地の凧



凧をあげる長男